

農業後継者育成基金事業

令和2年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立薩摩中央高等学校

1 目的

現在、本校卒業後の就農率は極めて低く、以下に示すような農業に関する様々な体験や講話等を実施することで、就農に向けた意識付けが必要である。

- (1) 農家実習・・・・・・・・ 先進的な農家等で実際の農業を体験させ、農業技術の習得及び経営的な感覚を学ばせる。
- (2) 先進農家視察研修・・・・ 県内の先進的な農家及び農業関連施設の見学で就農意欲の醸成を図る。
- (3) 就農促進講話・・・・・・・・ 近隣の農家等から、農業について専門的な講話を聞くことで、就農意欲を高めさせる。
- (4) 営農の門出を励ます会・ 本校を卒業し、自営する者、研修後自営を志す者の門出を祝し、その意志を貫くよう励ます。

2 実施状況

(1) 営農の門出を励ます会の実施

2月12日に鹿児島県立農業大学校へ進学する者を励ます会を行った。それぞれ進学先や就農についての抱負を述べ、志をより一層強くする会となった。



(2) 先進農家視察研修の実施

2月24日に先進農家視察研修を実施した。先進農家2か所を視察し、農業に関する知識を深め就農に対する意識が向上した。



(3) 農家実習及び就農促進講話

新型コロナウイルス感染症防止のため実施できなかった。

3 今後の課題及び取組

非農家の生徒が大半であることから、講演会や視察研修を継続的に行うことで農業に興味・関心を持たせたい。また、先進地農家での実習や研修を充実させ、一人でも多くの生徒に就農を促していきたい。